

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業 経常事務事業 建設事務事業

平成20年度新

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連
 有
 無

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	下水道施設維持管理事業							
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	係	業務維持係	評価票作成者	維持担当係長 蓑手和幸
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境 安全・安心で、うるおいのあるまちづくり			基本施策	下水道	コード	1 2 6
	項	水と緑の環境づくり			単位施策(中)	公共下水道の促進	コード	1 2 6 1
					単位施策(小)	公共下水道の整備	コード	1 2 6 1 1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	全市民		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	公共下水道の維持管理によって都市基盤を適正に保持し、市民の快適空間を確保する。			
1-5 事務事業の内容	流域公共下水道区域内の下水道施設の維持管理。下水接続確認申請受付、許可、検査、清算。新規取付管占用関係申請等、指定工事店、責任技術者登録更新							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度					
	平成19年度					
	平成20年度	管清掃、水質検査、機器修理等最低限の維持に努めた。	将来を想定した、効率的な維持管理を実施、公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全に役立てる。	最小の経費で、最大の効果をあげ、公衆衛生の向上に寄与し、環境保全を図る。		
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	汚水管清掃		97.8(km)	195.6(km)	汚水管清掃の実施延長

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a (単位)			0.07(km)							
	直接事業費 b (千円)			574							
	人件費 c (千円)			3,312							
	合計コスト d (b+c)			3,886							
単位コスト d/a (千円)			55.5千円/km	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 活動実績として、H20の汚水管清掃の延長とした。71m/1000m = 0.07 直接事業費は、管清掃委託料を計上し、人件費は、6,624千円×2名×1/4=3,312千円とした。

2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		指標対応実績 (km)			0.07						
後期目標値に対する達成度 (%)				0.04							

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果 (アウトカム自己分析)	単年度担当課評価	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				A							

- 4段階評価結果
- A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 - B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 - C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 - D : 事務事業の廃止が相当

- 判断の基準
- 必要性(必要な事務事業であるか)
 - 公共性(公が実施する意味があるか)
 - 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 - 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 - 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 - 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度			
平成19年度			
平成20年度	現状では最低限の維持管理しかできてないのが実情、計画的な維持管理が必要。	下水道施設ごとに年度計画を作成し、計画的な維持管理を図る。	今年度は責任技術者の更新といった、例年にはない事務があったが皆の協力で何とか終えられた。
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果	結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度		
平成19年度		
平成20年度	A	継続して事業を進めること。
平成21年度		
平成22年度		
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		